

ESD通信 No. 26

平成30年9月3日発行

— ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —

新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課
☎ (0897) 65-1301

第1回 ESD 推進事業協議会 (5月21日:市庁舎)



1学期の取組のご紹介

【協議会 参加者】

鳴門教育大学 特命教授	近森 憲助	新居浜工業高等専門学校 教授	早瀬 伸樹
愛媛大学 准教授	小林 修	新居浜ユネスコ協会事務局 理事	眞鍋 慶子
えひめグローバルネットワーク代表	竹内 よし子	東予信用金庫 営業推進部長	久保 朋子
松山市立清水小学校 学校図書館支援員	木村 英理子	住友化学株式会社 愛媛工場 総務部 チームリーダー	染谷 孝之
新居浜市教育委員会事務局 次長兼教育力向上戦略監	榎木 奨悟	新居浜市教育委員会事務局 学校教育課長	井上 毅
新居浜市立惣閑小学校 ESD 担当校長	井上 美樹	環境省四国 EPO 所長	常川 真由美
新居浜市立角野中学校 ESD 担当校長	大久保 浩	新居浜市教育委員会 図書館支援センターチーフ	岡野 弥生
愛媛県総合科学博物館 学芸課長	市川 和夫	新居浜市教育委員会事務局 学校教育課 ESD 担当指導主幹	矢野 誠治

【協議内容】

協議会では、上記のメンバーが所属する団体より、それぞれ置かれている立場から ESD 推進に向けた取組を話し合うことができました。情報交換を進めていく中で、SDGs (持続可能な開発目標) 達成に向けた取組が、年を追うごとに盛んに行われていることがわかりました。17 の SDGs の中の 12 番目に『つくる責任 つかう責任』という目標があります。企業としては、ただ「作ればいいんだ。」ではなく、常に未来の日本そして世界を意識したものづくりをしていかななくてはいけないとおっしゃっていました。

また、来年度から市内全小・中学校で導入される CS (コミュニティースクール) でも、学校単独では難しかった SDGs 達成に向けた様々な取組が地域の力をお借りしてできるのではないのでしょうか。

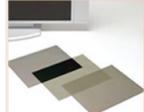
協議会で話題に上がった住友化学さんと今治市の IKEUCHI ORGANIC さんの取組を紹介します。

住化サステナブル ソリューションズ

住友化学グループは、人類が深刻な課題に直面する今こそ、経営理念である「事業活動を通じて人類社会の発展に貢献する」という使命を思い起こし、サステナブル (持続可能) な社会の実現に向けた課題に対し、技術を基盤とした新しい価値、「ソリューション」を社内認定し、その開発や普及を一層進め、社会に貢献しています。

右図 (住友化学HPより) のように、地球に優しい製品の開発に努めています。

Solution



UV接着プロセスは、紫外線硬化技術によって偏光フィルムを貼り合わせる新しいプロセスです。従来のプロセスでは水溶性の糊を用いており、乾燥硬化に長大な加熱乾燥工程を必要としていましたが、UV接着プロセスではこの工程を省略することが可能となりました。大幅な省エネルギーを達成するとともに、温室効果ガスの排出削減に貢献しています。

分野 気候変動対応、環境負荷低減

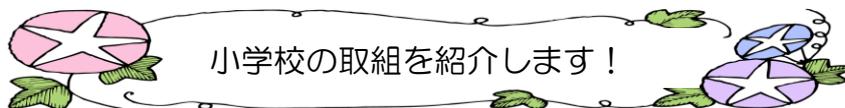
認定要件 温室効果ガスの排出削減への貢献
廃棄物などの削減や環境負荷低減への貢献



風で織るタオル (IKEUCHI ORGANIC)

1953年にタオルの街、愛媛県今治市に創業した IKEUCHI ORGANIC は60年以上の歳月をかけて、生産する全製品が『赤ちゃんが口に含んでも安全』をモットーとする企業です。なんと2073年までに赤ちゃんが食べられる(ほど安全な)タオルを創ることを安全基準としているそうです。

環境負荷を最小限に抑えるため、製織工場の使用電力100%を風力発電で間接的に賄うグリーン電力証書システムを利用しています。織られたタオルは、「風で織るタオル」の愛称で親しまれ、再生可能エネルギーの普及に貢献しています。まさに、SDGs達成に向けた取組ですね。



人権・同和教育講演会 (6月15日: 惣開小)

ESDの視点を踏まえ、人権教育の充実を目指した講演会が惣開小学校体育館で行われました。持続可能な社会づくりの担い手を育む過程で、他を思いやる温かな心の育成は必要不可欠です。今回、新居浜市出身で女優としても活躍されていた高見知佳さんとピアニストの荒井仁美さんをお招きして、読み語りを行っていただきました。優しいピアノの音色に感情豊かな読み語りが参加した児童・保護者・教職員の心を癒し、人として大切にしなければいけないことを再確認させてくれたひと時でした。



突然ですが、SDGs アイコンクイズ!

※ アイコンとフレーズを線で結んでみましょう!



- 『 つくる責任 つかう責任 』
- 『 住み続けられる まちづくりを 』
- 『 すべての人に 健康と福祉を 』
- 『 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 』

